



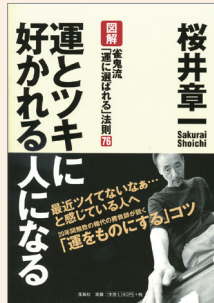
当協会職員が、人生やライフプランを考える上でヒントとなる本をご紹介します。



「運とツキに好かれる人になる」

桜井章一 著

[宝島社、2010年3月、1,234円]



皆さんは、運とツキに恵まれていますか。常に恵まれていることはないかもしれないし、その逆も珍しいであろう。すなわち、あるリズムで回ってきたり、離れたたりというのが一般的に感じる流れかと思う。

この本は、プロ雀士が書いた、極めて真面目な人生指南本。運とツキというものに常に向かい続けてきた方ならではの経験が詰まっている。

五感を研ぎ澄ますことで、運とツキをつかみやすくなるという。逆に言えば、現代社会で暮らす我々は、五感の中で常に使用する感覚に偏りが生じており、それらをつかみにくくしているということだ。

小生はこの本が左ページ文章、右ページ図解と分かりやすい構造になっていたので選んだが、文章が多くても気にならない方は、同氏が執筆した類似のタイトルを1冊読めば、運とツキに恵まれるコツ、著者が読者に伝えたいことがよくわかるであろう。

(執筆：協会職員 竹内 敦)

本誌では、ライフプランに関する各分野について、著名人に執筆してもらったり、仕事を活動に目を向けて一般の方に執筆、インタビューなどで登場してもらったりしています。そして本誌では通信員（読者モニター）制度を通して、各記事に関する評価なども確認をしています。この評価が編集者の感覚と一致しないことがあります。特に一般の方々の登場の場合、「さりげないもの」「自分にも出来そうな事」は意外にも高い評価が得られないことがあります。しかし、本誌ではそのような方々の活躍を今後も継続して掲載していこうと考えています。「スター選手」より「凡人」がどう生きるか、これは、大きなテーマだと思いますから。(タ)

人生それなりに長く生きていくと、いろいろな人と出会い、いろいろな話を見聞きするうちに、見えてくることがある。私がおこなった数年感じるのは「損をしないように生きていく人は、得をしていない」ということ。今号のEconomy「消費を見直すために知っておきたい行動経済学」の記事「人は得より「損」に敏感」にあるように、多くの人は損することを嫌がる。だが、損することを避けてばかりいては、大きな得も手にできないのではないか。「自分さえ損しなければいい」と目先しか見えていなければ、発想や行動範囲、可能性をせばめてしまいがちだ。時には自分が損をするかわかっていても、誰かのために行動を起こす。そういったことが人生を豊かにする気がしてならない。(R)

ご意見をお待ちしております

ご意見、ご質問、ご感想などをお寄せください。皆様の声を、積極的に活かしていきたいと考えております。

E-mail : alps2@lifeplan.or.jp

協会への交通案内

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線/青山一丁目駅4番出口より徒歩3分
- 東京メトロ千代田線/乃木坂駅3番出口より徒歩7分

ALPS Vol.139

2019年10月発行

発行 ●一般財団法人地域社会ライフプラン協会

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番26号

住友不動産青山ビル西館6階

TEL.03-3470-8711 FAX.03-3470-8759

ホームページ <http://www.lifeplan.or.jp>

E-mail alps@lifeplan.or.jp

編集協力・印刷 ●株式会社丸井工文社

本書からの無断複写・転載を禁じます。
本誌は再生紙を使用しています。

